

<当科研修の特長>

- ・循環器内科の診療には内科一般の知識が必要であり、心疾患を含めた全身管理ができることを目指します。
- ・注目されがちなカテーテル治療（非薬物療法）のみならず、薬物療法の基本をおさえることを重視します。
- ・症例数だけでなく、1症例における問題解決のスキームを立てられるように訓練し、たとえ稀な疾患に遭遇しても対応できることを目標とします。
- ・心臓血管外科、コメディカルと密な連携をとり、ハートチームとしての診療レベルの向上を図ります。

<取得可能な資格>

- ・内科専門医、総合内科専門医、循環器専門医、CVIT 認定医、不整脈専門医、学位など

<例えばこういう人は向いています！>

- ・心電図を見て、心が踊る人
- ・狭い所を広げたい性分の人
- ・血管の断面を解析したい人
- ・抗血栓薬の達人になりたい人
- ・動体視力と地獄耳には自信のある人
- ・心臓デバイスのプログラミングに没頭できる人
- ・心筋細胞の調和を乱す勝手な興奮に憤りを覚える人
- ・肺高血圧、在宅酸素療法に興味のある人
- ・非心臓手術の術前アセスメントを究めたい人
- ・なぜ尿量が少ないかを理論的に分析し、解決に結び付けたい人
- ・心不全パンデミックにける高齢者医療、総合内科的医療にやり甲斐を感じる人

循環器内科の対象とする範囲は広いため、きっと目指したい分野が見つかるはずです。